

平成29年度 第3回 川崎市地域自立支援協議会 全体会議資料

# 平成29年度 市協議会 課題整理ワーキング報告

報告者： あさお基幹相談支援センター 河村  
川崎区役所高齢・障害課 梶原

再記載

## 平成29年度 課題整理ワーキング活動の目的

◎市協議会が取り組む課題を明確にしていき、明確になった課題を市協議会（部会・他ワーキング等）や区協議会と共有しながら課題解決の具体的な取り組みにつなげていく。

## 再記載

### 平成28年度 各区協議会から提出を受けた 課題の分類項目

- ① 「相談支援」
- ② 「権利擁護」
- ③ 「福祉サービス全般」
- ④ 「地域移行・定着支援」
- ⑤ 「情報」
- ⑥ 「連携・つながり」
- ⑦ 「医療」
- ⑧ 「防災（災害）」
- ⑨ 「社会資源」
- ⑩ 「取扱いに更なる精査が  
必要な課題」

## Plan 計画 1

### 今年度当初に設定した取組み事項について

- 区協議会及び市協議会企画運営会議から提出を受けた課題の  
管理・把握
- 提出を受けた課題を課題項目ごとの分析をすすめ、より具体的  
な傾向を把握し、市協議会が取り組む課題を明確にしていく。
- 修正した共通書式を活用してもらい、使い勝手を含めた運用の  
仕方を確認し改善していく。（課題提出票・課題管理一覧表等）
- その他、市協議会企画運営会議で検討が必要な事項について、  
課題整理・分析を行っていく。

Do 1  
実施

## 年度 前半期間に 実施した取組み事項について

- ① 修正した共通書式を活用した課題整理を標準化した。課題整理の手引き（実務担当向け）の作成
- ② 区協議会から提出を受けた課題の管理・把握
- ③ 「第4次かわさきノーマライゼーションプラン改定に対する意見について（テーマ別意見）」について課題傾向の分析

6

## 年度 後半期間の活動内容（予定）について

### 取組み事項

- ① 課題整理の手引き（案）－Ver1－  
※別添資料参照
- ② 区協議会から提出を受けた課題の  
管理・把握 ※別添資料参照
- ③ 第4次かわさきノーマライゼーション  
プラン改定に対する意見について  
（テーマ別意見）と課題傾向の分析

### 後半期間の活動内容（予定）について

- ① 各区協議会にて手引きを活用し課題整理を進めていく。  
活用状況のモニタリングを行い、評価していく予定。
- ② 新規に提出を受けた課題の管理を行い、課題分類を  
行い、課題傾向について分析し、明確化していく。
- ③ 市協議会として、テーマ別意見の具体的取組み（案）  
について検討し市企画運営会議へ報告していく。

Plan 2  
計画

平成29年度 市協議会課題整理ワーキング  
年度後半期間スケジュール（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
課題整理 ワーキング		第1回 所掌事項 確認	第2回 各区協議会課題 一覧表の確認 ***** 課題整理の手引き (案)作成	第3回 課題整理の手引き (案)作成	第4回 課題整理の手引き (案)作成	第5回 課題整理の手引き (案)作成
市協議会 企画運営会議		進捗状況の報告	同左	同左	同左	手引き案説明
	10月	11月	12月（予定）	1月（予定）	2月（予定）	3月（予定）
課題整理 ワーキング	第6回 区協議会課題 管理状況の共有 その他	第7回 課題管理一覧 表・市協議会提 出票作成に向け た検討	第8回 課題管理一覧 表・市協議会提 出票作成に向け た検討	第9回 協議会課題 管理一覧表 (案)・市協議 会提出票(案) 作成提出	第10回 年度まとめ	第11回 年度まとめ 報告資料作成
市協議会 企画運営会議	進捗状況の報告	同左	同左	管理一覧表 (案)・市協議 会提出票(案) の検討	管理一覧表 (案)・市協議 会提出票(案) の検討	

市協議会課題整理ワーキング  
担当機関一覧

	機 関 名	
川崎区	川崎区役所 高齢障害課	梶原
幸区	幸区役所 高齢障害課	野末
中原区	中原区役所 高齢障害課	谷本
高津区	高津区役所 高齢障害課	若井
宮前区	みやまえ基幹相談支援センター	野原
多摩区	多摩区役所 高齢障害課	渡邊
麻生区	麻生区役所 高齢障害課 大森	あさお基幹相談支援センター 河村

川崎市地域自立支援協議会課題管理一覧表（全7区）

No.	課題類型	課題タイトル	区	区協議会への提出日	提出者	個別の問題状況	ワーキングで整理	区企画運営会議で検討	(判断)	地域課題	区定例会で協議	優先度	取り組み開始時期	区における協議・検討状況	協議・検討結果	市協議会への提出日
1	⑤情報	情報の不足	川崎	平成27年度以前	児童委員会	家族や教育関係者がどこに何を相談してよいかかわらず、たらい回しになってしまっている。	H28.9.6	H29.3.21	③区定例会で協議	支援者が適切な機関に繋ぐための、各機関の役割の把握		☆☆☆	H27.4	専門委員会で協議中	区協議会での取り組みを全市へ周知するもの H28.12「障害児支援機関一覧表」作成・配布	
2	⑥連携・つながり	資源・情報の不足	川崎	平成27年度以前	児童委員会	家族の負担が増す中、小学校に入学してから成人になるまでの間、利用できる社会資源が少なく、その情報もわからない。	H28.9.6 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・教育と福祉の連携 ・学校との関わりを持つ機会の設定		☆☆☆	H28.4	専門委員会で協議中	No8、No21とリンク	
3	③福祉サービス全般	資源不足	川崎	平成27年度以前	児童委員会	特別支援学校等卒業後の地域との関わりとして、通所施設、入所施設やグループホームの利用を希望するが、希望通りに利用できない。	H28.9.6 H28.12.27 H29.2.28		③区定例会で協議	受け入れる通所施設、入所施設やグループホームの不足		保留		課題整理ワーキングで協議中	取扱い場所：未定	
4	③福祉サービス全般	資源不足	川崎	平成27年度以前	児童委員会	放課後デイサービスが急増しているが、対象者が限られており、重度の障害状況の方が利用につながらない。	H28.9.6 H28.12.27 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	重度障害者の受け入れ体制の整備		☆☆	H29.4	専門委員会で協議中		
5	①相談支援	在学中及び卒業生への支援体制	川崎	平成27年度以前	児童委員会	・サポート校での就労定着について、就労すると支援体制が切れてしまうことが多い。 ・卒業時の支援者間のつながりが薄い。 ・先生達の知識不足を感じる。	H28.9.6 H28.12.27 H29.2.28		③区定例会で協議	・卒業後のサービス終了に向けたソフトランディング ・特別支援学校卒業後の定着支援についての把握		保留		課題整理ワーキングで協議中	No7、No8、No24とリンク 取扱い場所：専門委員会	
6	③福祉サービス全般	子ども家庭支援員派遣制度の活用	川崎	平成27年度以前	児童委員会	子ども家庭支援員派遣の制度（障害児童支援員派遣事業）が広く知られておらず、活用に至っていない。	H28.9.6 H28.12.27 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・制度の現状把握 ・制度の理解の促進		☆☆	H29.4	専門委員会で協議中	No20とリンク	
7	①相談支援	計画相談支援についての周知と理解の促進	川崎	平成27年度以前	相談支援委員会	・計画相談支援の認識・理解が浸透しておらずメリットが伝わっていない。 ・関係機関にも周知が不足している。 ・断片的な情報が伝わっており、計画相談支援の目的や意義が正しく伝わっていない。	H28.9.13 H28.12.27 H29.2.28		③区定例会で協議	利用者や計画相談支援に直接関わっていない事業所にも分かりやすくするための概要の整理		保留		課題整理ワーキングで協議中	No5、No8、No24とリンク 取扱い場所：専門委員会	
8	①相談支援	在学中及び卒業に向けた相談支援	川崎	平成27年度以前	相談支援委員会	・在学中の生徒への計画相談支援の流れが不透明。 ・情報の不確実性。	H28.9.13 H28.12.27 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	在学中の生徒及び卒業にかけての計画相談支援の流れを分かりやすくするための問題点の整理		☆☆☆	H29.4	専門委員会で協議中	No2、No5、No7、No9、No21、No24とリンク	
9	②権利擁護	虐待ケースの通告後の支援	川崎	平成27年度以前	相談支援委員会	障害者虐待対応マニュアルにあるフォローを共有化できていないことで、被害者、虐待者に適切な支援が行えない。	H28.9.13 H28.12.27 H29.2.28		③区定例会で協議	障害者虐待対応マニュアルにあるフォローに沿った対応の共有		☆		課題整理ワーキングで協議中	取扱い場所：未定	
10	⑥連携・つながり	支援者・関係者間のつながり	川崎	平成27年度以前	相談支援委員会	・他機関との連携があまりない。 ・本人の希望する生活が見えない中での支援となってしまい、点の支援になっている。	H28.9.13 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・支援者間でチームケアができる関係作り ・関係者機関のネットワークの構築		☆☆☆	H28.4	専門委員会で協議中	No11～No13とリンク	
11	⑥連携・つながり	支援者・関係者間のつながり	川崎	平成27年度以前	相談支援委員会	支援者自身が未熟さを感じているが、その先どうしたら克服できるかを周りの支援者と共に考えていく機会が少ない。	H28.9.13 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・支援者間でチームケアができる関係作り ・関係者機関のネットワークの構築		☆☆☆	H28.4	専門委員会で協議中	No10、No12、No13とリンク	
12	⑥連携・つながり	支援者・関係者間のつながり	川崎	平成27年度以前	相談支援委員会	・相談し合える関係作りがされていない。 ・孤独感を持ったまま現場にいる。	H28.9.13 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・支援者間でチームケアができる関係作り ・関係者機関のネットワークの構築		☆☆☆	H28.4	専門委員会で協議中	No10、No11、No13とリンク	
13	⑥連携・つながり	支援者・関係者間のつながり	川崎	平成27年度以前	相談支援委員会	・支援方針や役割を関係者全員が確認できていない。 ・あやふやに理解している。	H28.9.13 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・支援者間でチームケアができる関係作り ・関係者機関のネットワークの構築		☆☆☆	H28.4	専門委員会で協議中	No10～No12とリンク	
14	⑧防災（災害）	災害時の支援・対応	川崎	平成27年度以前	地域つながり委員会	地域つながりの委員会 災害時の支援に不安がある。	H28.9.5 H28.12.27 H29.2.28		③区定例会で協議	災害時の障害特性に配慮した支援についての情報の不足		☆		課題整理ワーキングで協議中	取扱い場所：未定 ※市協議会の動向を踏まえて検討	
15	⑤情報	地域の友人づくり	川崎	平成27年度以前	地域つながり委員会	通所先以外での交流の場が欲しい。	H28.9.5		③区定例会で協議	おでかけ先等社会参加の機会についてのまとまった情報の不足		☆☆☆	H27.4	協議済	区協議会での取り組みを全市へ周知するもの H28.7「おでかけガイド」作成・配布	
16	⑨社会資源	成人のナイトケア	川崎	平成27年度以前	地域つながり委員会	地域つながり委員会 通所終了後から家族が帰宅するまでの居場所がない。	H28.9.5 H28.12.27 H29.2.28		③区定例会で協議	通所終了後の社会資源の不足		☆		課題整理ワーキングで協議中	取扱い場所：未定 ※他団体の要望活動等についての情報共有などを検討	

17	①相談支援	地域の見守り体制	川崎	平成27年度以前	地域つながり委員会	問題を抱えたケースが相談先が無いままに存在する。	H28.9.5 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	相談機関の周知や問題の掘り出し		☆☆☆	H28.4	専門委員会で協議中		
18	⑥連携・つながり	利用者の高齢化	川崎	平成27年度以前	地域つながり委員会	介護保険への移行で支援体制が変わり、利用者の混乱や円滑な移行ができない場合がある。	H28.9.5		③区定例会で協議	高齢者の支援について、障害者の支援者が知識を習得する機会の設定		☆☆☆	H27.4	協議済	区協議会での取り組みを全市へ周知するもの H27.10「認知症サポーター養成講座」開催	
19	⑥連携・つながり	利用者の親の高齢化	川崎	平成27年度以前	地域つながり委員会	家族が介護できなくなった時の支援体制に不安がある。	H28.9.5		③区定例会で協議	高齢者の支援について、障害者の支援者が知識を習得する機会の設定		☆☆☆	H27.4	協議済	区協議会での取り組みを全市へ周知するもの H27.10「認知症サポーター養成講座」開催	
20	⑨社会資源	母親のレスパイト	川崎	H28.7.12	児童委員会	子どもに手がかり、家事をやる余裕がない。土日も休めない。親族にも簡単には預けられない。	H29.1.24 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・制度の現状把握 ・制度の理解の促進		☆☆	H29.4	専門委員会で協議中	N6とリンク	
21	⑥連携・つながり	資源・情報の不足	川崎	H28.7.12	児童委員会	学習等に配慮が必要な不登校の子どもの日中の居場所が身近にない。	H29.1.24 H29.2.28	H29.3.21	③区定例会で協議	・教育と福祉の連携 ・学校との関わりを持つ機会の設定		☆☆☆	H29.4	専門委員会で協議中	N2とリンク	
22	⑤情報	グループホームの支援体制	川崎	H28.7.12	地域つながり委員会	利用者がグループホームを選択するとき、世話人の支援体制が違うため選びにくい。	H29.1.24 H29.2.28		③区定例会で協議	グループホームを選ぶための情報が必要		☆		課題整理ワーキングで協議中	取扱い場所:未定	
23	⑨社会資源	外出経験の機会の確保	川崎	H28.7.12	相談支援委員会	排他を気にせず好きなところに出かけて、いろいろな経験をしたいのにできない。	H29.1.24 H29.2.28		③区定例会で協議	安心して外出できる環境（設備・人）が少ない		☆		課題整理ワーキングで協議中	取扱い場所:未定	
24	①相談支援	計画相談支援事業所の不足	川崎	H28.7.12	相談支援委員会	専門家によるケアマネジメントが必要な方に支援が届かない。	H29.1.24 H29.2.28		③区定例会で協議	マネジメントの選択先が少ない		保留		課題整理ワーキングで協議中	N5、N7、N8とリンク 取扱い場所:専門委員会	
25		就労移行事業所の利用の仕方	川崎	H28.7.12	相談支援委員会	就労移行に行ける人が就労型型に行っている可能性がある。								未協議	29.2.23 提出者に聞き取りを実施	
26	⑥連携・つながり	地域支援	幸	H28.3.31	区役所	地域社会との交流が乏しく、近隣からも把握されていないことが多い。家庭の中だけで完結してしまっていることがある	H28.4.12	H28.4.12	③区定例会で協議	民生委員を含め、様々な場面で早期発見のため働きかけの手立て。連絡のルートの明確になっていない。	H28.4.19	☆☆☆(順優先)	H28.4.19	専門委員会で協議中		
27	⑥連携・つながり	成人してからの失敗	幸	H28.4.12	相談支援センター	大人になってから療育手帳を申請するケースが増えている。そのようなケースは問題がこじれてから相談にくるため、生活の立て直しに苦慮する事が多い。	H28.4.12	H28.4.12	③区定例会で協議	本来支援を必要とする子供たちが、手帳や地域のなかで安心して、伸び伸びと自分の力を発揮していくための、その子供に家族や支援者が向き合うネットワークや学校と福祉（医療）との連携が不足している。	H28.4.19	☆☆☆(順優先)	H28.4.19	専門委員会で協議中		
28	⑨社会資源	父親の力	幸	H28.4.12	相談支援センター	父親は仕事で子育てに関わる機会が少なく、子どもとの接し方がわからなかったり、障害理解に乏しかったりすることもある。	H28.4.12	H28.4.12	③区定例会で協議	父親が子育てに積極的に関わり、父親の力を発揮していけるような取り組みが不足している。	H28.4.19	☆☆☆(順優先)	H28.4.19	専門委員会で協議中		
29	①相談支援	支援者支援	幸	H28.4.12	相談支援センター	当事者には支援機関が入っているが、家族にも支援が入る必要があり、家族への支援を入れないと、当事者に対する支援がうまく進まない。当事者の支援機関が、家族支援に対して行き詰まりを感じている	H28.4.12	H28.4.12	③区定例会で協議	高齢・障害他複雑な問題を抱えていたり、地域で埋もれているケースについて、支援者が個々に抱え込んでいる。	H28.4.19	☆☆☆(順優先)	H28.4.19	専門委員会で協議中		
30	⑥連携・つながり	支援者横のつながり	幸	H28.4.12	相談支援センター	施設間の横のつながりが希薄である	H28.4.12	H28.4.12	③区定例会で協議	支援者の地域ネットワークが不十分。	H28.4.19	☆☆☆(順優先)	H28.4.19	専門委員会で協議中		
31	⑤情報	事業所の実態	幸	H28.7.5	相談支援センター	視覚障害者への情報提供について人によって説明が違う。統一してほしい。	H28.9.13	H28.10.4	③区定例会で協議	障害毎にわかりやすい情報提供がなされていない。特に視覚・知的障害の方	H28.12.20	☆☆☆(順優先)	#####	専門委員会で協議中		
32	⑤情報	ヘルパー事業所の実態	幸	H28.7.12	相談支援センター	ヘルパーが見つかり辛い。	H28.9.13	H28.12.13	③区定例会で協議	いるのか、いないのか？ヘルパーの実態が不明。	H28.12.20	☆☆☆(順優先)	#####	専門委員会で協議中		
33	⑥連携・つながり	放課後デイ利用者の機関連携	幸	H28.7.12	相談支援センター	放課後デイの利用増えている。デイでの過ごし方確認していく必要性を感じる。保護者と過ごす時機能が少ないには大丈夫か。安全対策などどう確認するのか。	H28.9.13	H29.2.14	③区定例会で協議	障害者の放課後の過ごし方・連携がどうとられているか不明。						
34	⑨社会資源	手帳なし要支援児童	幸	H28.7.12	相談支援センター	高IQで手帳なく養護に入れない。	H28.9.13	H28.12.13	②個別課題	IQが高くてでも支援が必要な人の受け皿が不足	H28.12.20	☆☆(優先)		専門委員会で協議中		

35	④地域移行・定着支援	地域移行支援	幸	H28.7.5	相談支援センター	医療少年院退院後の支援 家族基盤が弱く支援困難だが地域定着支援センターは使えない。支援の限界を感じる。	H28.9.13	H28.12.13	②個別課題	軽度知的の触法ケースの支援の枠組みが確立されていない。	H28.12.20	☆(取扱い保留)		協議済			
36	③福祉サービス全般	指定特定の数が足りない。	幸	H28.8.2	相談支援センター	必要な計画相談に繋がらない人がいる。増えない課題が整理されていない。	H28.8.2	H28.8.9	③区定例会で協議	計画相談を立てる事業所の数、受け皿が少ない	H28.12.20	☆☆☆ (優先)	H28.8.9	専門委員会で協議中			
37	③福祉サービス全般	グループホーム不足	幸	H28.8.8	相談支援センター	区内にない。土地?物件?人件費?法人の体力?	H28.9.13	H28.12.13	③区定例会で協議	区内のグループホームが少ない。	H28.12.20	☆☆☆ (優先)	#####	専門委員会で協議中			
38	⑤情報	相談支援センター業務の周知	幸	H28.10.4	相談支援センター	相談支援センターの役割周知されていない。	H28.10.4	H28.12.13	③区定例会で協議	周知するための活動が必要	H28.12.20	☆☆ (優先)		専門委員会で協議中			
39	④地域移行・定着支援	地域移行支援	幸	H28.9.14	相談支援センター	精神科退院後のアパート見つかりにくい。	H28.10.4	H28.12.13	③区定例会で協議	居住支援制度はあるが機能せず。協力団体は常時連絡が取れる体制を求められる。問題が起きた時の対応について不動産業者とのつながりが無い。家主の理解を得る必要がある。	H28.12.20	☆☆☆ (優先)		課題整理ワーキングで協議中			
40	⑨社会資源	通所後の支援	幸	H28.9.29	構成員	若年層の家族からは時間延長要望 家族の就労保障と本人の安全保障。	H28.10.4	H29.1.10	③区定例会で協議	通所後の夕方への支援が少ないがニーズは増加している。		☆☆ (優先)		専門委員会で協議中			
41	③福祉サービス全般	通院同行やショートへの送迎	幸		構成員	高齢層の家族からは通院同行やショートへの送迎の希望		H29.1.10	③区定例会で協議	家族の高齢化と制度上の隙間		☆☆ (優先)		専門委員会で協議中			
42	①相談支援	精神疾患の親	幸	H28.10.4	相談支援センター	精神障害ケースの子育ての相談	H28.10.4	H29.1.10	①情報提供	相談ルートが出来つつあり、今後増える。		☆☆ (優先)		専門委員会で協議中			
43	⑩取扱いに更なる精査が必要な課題	社会的ひきこもり	幸	H28.9.1	相談支援センター	本人に困り感なく支援困難	H28.10.4	H29.1.10	③区定例会で協議	把握されている状況作りは必要		☆☆ (優先)		専門委員会で協議中			
44	⑤情報	インフォーマルな活動の情報収集	幸	H29.6.9	相談支援センター	知的障害があり写真が趣味の方がサークルのような集まりで写真を楽しみたいがどのように探せばいいかわからない。	H29.6.13	H29.6.13	①情報提供	インフォーマルなサービスの収集に限界がある	H29.6.20	☆(取扱い保留)		協議済			
45	⑩取扱いに更なる精査が必要な課題	B2の引きこもりがらケース	幸	H29.6.9	相談支援センター	療育手帳B2の方が福祉施設を利用しないとバス券交付ができないが、障害が軽度ゆえ対人トラブルや社会に馴染めずひきこもりがち。支援センターを福祉サービスの場所の一つとして認定してバス券発行ができないだろうか。	H29.6.13	H29.6.13	②個別課題	軽度障害でどこにもつながらずひきこもりがち							
46	⑨社会資源	体験型のGH、一人暮らし体験型のショートステイ	幸	H29.6.9	相談支援センター	一人暮らしをしたい方がいても、サテライト型のGHが少なく、空きがないので情報提供ができない			②個別課題								
47	⑤情報	情報の不足	中原	H28.6.17	構成員	特別支援学級在籍児の保護者などに福祉等の必要な情報が行き届かないことにより、不利益を被っている現状がある。	H28.9.7	H28.9.7	③区定例会で協議	情報はあがるが、一人ひとりに合った情報をマッチングする手立てがない。	H28.9.16			協議済	市協議会において解決に向けて検討や協議を行うことが必要なもの		
48	⑤情報	現状理解の不足	中原	H28.6.17	構成員	中原区自立支援協議会が地域の現状を正しく理解できていない	H28.9.7	H28.9.7	③区定例会で協議	地域課題の解決や自立支援協議会の活動において、当事者の意見をふまえられていない	H28.9.16			協議済	近隣区と協働活動へ拡大が必要なもの		
49	⑥連携・つながり	支援者・関係者間のつながり	中原	H29.1.11	相談支援委員会	他機関等から引き継ぎを受ける際に、これまでの支援状況や支援機関が担っていた役割等が伝わらない。	H29.1.11	H29.1.11	③区定例会で協議	支援機関が情報を共有するためのツールがない。				課題整理ワーキングで協議中	平成28年度協議会相談支援委員会にて引き継ぎのシートを作成し、まとめ冊子に掲載し、構成員に配布した。今後、使用し検証を行う。		
50	⑥連携・つながり	支援者・関係者間のつながり	中原	H29.1.11	相談支援委員会	児童期から成人期への移行期に支援が途切れる。	H29.1.11	H29.1.11	③区定例会で協議	引き継ぎが十分にされず、また、情報も得られないため、再度インタークやアセスメントを行わなければならない。				課題整理ワーキングで協議中	みまもりセンターとの連携を、29年度協議会相談支援委員会の目標とし、活動を行っている。		
51	③福祉サービス全般	支援者の不足	中原	H29.1.11	児童委員会	放課後等デイサービスの利用目的が適切に周知されていない	H29.1.11	H29.1.11	③区定例会で協議	サービスをコーディネートする支援者がいないことで(相談支援専門員の不足)、サービスの利用方法が分からず混乱している				課題整理ワーキングで協議中	児童委員会の活動として「こども未来フェスタ」の参加や冊子作りを行い継続して児童の普及啓発活動を行っている。放課後等デイサービス間での連絡会を実施する予定である。		
52	⑨社会資源	資源の不足	中原	H29.1.11	普及啓発委員会	当事者が参加したり、当事者の声が反映される場所がない。	H29.1.11	H29.1.11	③区定例会で協議	当事者が自立支援協議会に参加し、さまざまな関係者や関係機関等と協働しながら地域づくりを行っていくための方法等について検討していく。				課題整理ワーキングで協議中	自立支援協議会の当事者参加について、平成29年度「構成員のあり方ワーキング」を設置し、継続して課題に取り組んでいる。		



53	⑨社会資源	資源の不足	中原	H29.1.11	普及啓発委員会	当事者や家族、事業所の職員が福祉制度サービスの理解が不足している。	H29.1.11	H29.1.11	③区定例会で協議	自立支援協議会の認知度を高め、広報紙や事業所紹介冊子等の作成物を活用していくことで、制度やサービスの周知をばかしていく。						課題整理ワーキングで協議中	広報紙や事業所紹介の冊子、中原区福祉健康まつりでのパネル展示等を通して、自立支援協議会の普及啓発を行っていく。	
54	⑥連携・つながり	保険証の管理	中原	H29.5.19	相談支援委員会	保険証等、大事な物を収納した場所を忘れてしまい、見つけることに苦労する。	H29.7.4	H29.7.4	③区定例会で協議									
55	①相談支援	相談機関の不足	中原	H29.5.19	構成員	相談支援センターの数が絶対的に不足している。そのため計画相談を希望する人の要求に答えきれない。	H29.7.4	H29.7.4	③区定例会で協議									
56	⑥連携・つながり	事業所間の連携	中原	H29.5.19	構成員	就労移行支援事業所間で、課題の協議や情報の共有を行ってもらえれば、より良い就労支援を行うことができる。	H29.7.4	H29.7.4	③区定例会で協議									
57	⑨社会資源	金銭管理支援	高津		相談支援	営業時間が平日となっているため仕事をしている人は休職をとらなければならない	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	安心センターの実態把握、成年後見制度との兼ね合い	☆（取扱い保留）	未定	未協議					
58	④地域移行・定着支援	精神障害者支援	高津		相談支援	地域移行するための具体的な方法がわからない		H28.3	③区定例会で協議	地域定着支援が必要	☆☆☆（優先）		専門委員会で協議中	区協議会での取り組みを全市へ周知するもの				
59	⑥連携・つながり	学校と地域支援について	高津		相談支援	教員は校内の動きしか知らず福祉についての知識が不足している。	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	学校との連携の不足	☆（取扱い保留）	未定	未協議					
60	⑥連携・つながり	放課後等デイサービスについて	高津		相談支援	利用方法が療育的ではなくレスパイトになっている現状が散見される。放課後等デイサービスの実態がわからない。	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	放課後等デイサービスの実態把握。事業所間の連携	☆☆☆（優先）	H28.4	専門委員会で協議中					
61	①相談支援	家族支援について	高津		相談支援	個人の支援に入った時に、家族についても支援が必要な状況が見られる。	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	多問題家族への福祉的介入について	☆☆（優先）	未定	未協議					
62	⑤情報	相談支援について	高津		相談支援	家族、事業所、学校等、相談支援が何をしているのかわからない。認知度が低い		H28.3	③区定例会で協議	相談支援の周知が不足している。	☆（取扱い保留）	未定	未協議					
63	⑨社会資源	障害支援について	高津		相談支援	通所先の終了後の居場所がない。働いている親が、次の通所先まで送迎しなければいけない。	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	夕方・土日の障害福祉サービスの不足	☆☆（優先）	未定	未協議					
64	⑩取扱いに更なる精査が必要な課題	わくわくプラザについて	高津		相談支援	わくわくプラザが障害児支援を断ることが多い	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	障害に関する知識の不足	☆（取扱い保留）	未定	未協議					
65	⑨社会資源	多文化ソーシャルワークについて	高津		相談支援	文化、言語の違う人にどのようにどのように対応していったらよいか	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	多文化に対応できるだけの資源がそろっていない	☆（取扱い保留）	未定	未協議					
66	⑤情報	GHについて	高津		相談支援	GHについて言葉だけが先行してしまい実情が理解できていない	H28.3	H28.3	③区定例会で協議	正しくGHの現状把握し適切な情報提供が必要	☆☆☆（優先）	H28.9	課題整理ワーキングで協議中					
67	⑤情報	児童期の相談	宮前区	平成25年以前に提出	相談支援	福祉の情報が入りやすく、どこに聞けばいいかわからない。	平成25年以前に整理		③区定例会で協議	相談窓口が多く、それぞれの役割が相談者に伝わっていない。特別支援学校以外に通っている児童の保護者に情報が届きづらい。		平成25年以前から実施						
68	⑧防災（災害）	災害時の配慮	宮前区	H27.10	当事者	災害時に家族だけでは何もできなくなってしまう不安がある。	H28.1			災害時でも自分達の特性や状態に応じた配慮が受けられる体制になっているかわからない。								
69	⑧防災（災害）	災害時の情報	宮前区	H27.10	相談支援	災害が起きた時に必要な援助を受けたり必要な情報を受け取って安全確保したいが、よくわからない。	H28.1			災害時の個人情報について、地域に知ってもらうことに対して希望する方とそうでない方がいづれも画一的な情報管理が困難。災害時に必要な情報が欲しいが、どのような方法で受け取るべきか不明。								
70	⑧防災（災害）	災害時の医療	宮前区	H27.10	相談支援	災害時であっても薬や医療が十文に確保され途切れないようにしてほしい	H28.1		③区定例会で協議	災害時に服薬に困らないように、体制や医療に関する情報がどうなっているのかわからない。		H28.4						



71	⑤情報	相談窓口	宮前区	H27.10	相談支援	家族が高齢になり、介護をすることが難しくなってきた。 保護者の高齢化が進み、介護そのものが限界に近づいてきている。	H28.1									困った時の相談先が周知できていない。 どこに相談していいかわからない 個別で起きている生活問題について、家族。事業所が上手に地域の相談できる場所につながっていない。								
72	⑤情報	情報提供	宮前区	H27.10	相談支援	障害だけでなく、高齢のことや子どもこと等、どこに相談していいかわからない	H28.1										どこに相談していいかわからない。相談先が周知できていない。							
73	③福祉サービス全般	短期入所	宮前区	H27.10	相談支援	家族の予定された入院は緊急扱いにならない。長中期利用できる短期入所先が見つからないので、入院日が決められない。	H28.1										サービスがあっても使い勝手が悪く、必要な時に利用できない							
74	⑨社会資源	移動	宮前区	H27.10 H28.4	相談支援 当事者	移動のサービスやヘルパー調整等の手続きや予約が難しい バスを利用した時の対応に困る。	H28.1		③区分別 会 で協議								サービスがあっても使い勝手が悪く、必要な時に利用できない 公共交通機関を利用するひとの困ったことが広く把握できていない。				H28.4			
75	③福祉サービス全般	住まい	宮前区	H27.10	相談支援	精神科病院から退院したいが、GHが足りず退院できない。	H28.1										GHの絶対数が少ない。入居条件が厳しい							
76	③福祉サービス全般	入浴	宮前区	H27.10	相談支援	入浴を手伝ってほしいが、同性の支援者を探すのが大変	H28.1										サービスの需要がどのくらいあるのか、提供できる事業所があるのか、把握できていない。							
77	⑨社会資源	余暇活動	宮前区	H27.10	相談支援	一緒に付き合ってもらえる人や移動手段が見つからないから、出かけられない。障害があっても、気兼ねなく外出できるところが欲しい。	H28.1										相談場所や制度が周知できていない。外出先の情報がだされているのか把握が必要。							
78	⑨社会資源	16時以降の過ごし方	宮前区	H27.10	相談支援	通所から帰宅後ヘルパーと一緒に外出しているが、本人が望んでいるのかわからない。	H28.1										日中活動後の過ごし場所や方法の選択肢が限られている。							
79	⑨社会資源	社会資源	宮前区	H27.10	相談支援	温泉や銭湯等でゆっくり利用したいが、支援してくれる人が必要。 利用できる設備が整ってないと利用できない。	H28.1										地域で利用できる資源の情報が得られにくい。							
80	⑤情報	住まい	宮前区	H27.10	相談支援	坂が多く、移動手段も限られているため、住居設定が自然と狭い範囲に決まってしまう。	H28.1										家探しの基本情報が、当事者にわかりやすい方法で提示および周知されていない。							
81	⑨社会資源	環境	宮前区	H27.10	相談支援	外出する時に、予めトイレの情報を下調べする必要がある。障害者用トイレがないと困ってしまう。	H28.1										普段と異なる場所へ行った時にわかりやすい情報提示がなされているか、調べ方のツールがあるのか把握できていない。							
82	⑥連携・つながり	ピア	宮前区	H27.12	当事者	同じ病気で苦しむ人の役に立ちたいとピアサポート養成講座を修了したが、その後のフォローがなく活動の場がなく残念。有意義に活動したい	H28.1										ピアサポーターの活動状況や活動の場、研修体制が把握できていない。							
83	⑥連携・つながり	地域とのつきあい	宮前区	H27.12	当事者	障害があることで地域との近所付き合いが苦手な人がいるので、理解してほしい。	H28.1										住み始めてからの地域とのつながり方の情報が不足している。							
84	⑦医療	医療	宮前区	H27.12	相談支援	身近に障害を理解して安心して相談できる病院がない。	H28.1										医療のことで気軽に相談できる場が地域に少ない。病院の細かい情報が少ない。							
85	⑤情報	情報	宮前区	H27.12	相談支援	地域の情報を容易に得られない	H28.1										どのような方法であれば、情報がどんな障害を持っていても伝わるのか。方法が明確にされていない。							
86	⑦医療	医師とのコミュニケーション	宮前区	H28.10	相談支援	自分の症状や困っていることを上手に伝えられない。診察時に話を聞いてもらいたい	H28.12										診察の時に活用できる方法が伝わっていない。							
87	⑥連携・つながり	病院との体制	宮前区	H28.10	相談支援	1人で医療にかかることができない。緊急な時に、入院したいと思ってもできない時がある。	H28.12										医療と連携して地域で支える体制が十分ではない。							
88	⑨社会資源	受診勧奨	宮前区	H28.10	相談支援	周りから受診を勧められるけど、自分で必要と思っていない。知らない人から言われて困っている。	H28.12										医療のことで気軽に相談できる場が地域に少ない							

89	④地域移行・定 常支援	地域移行	宮前区	H28.11	相談支援	退院した時に誰に言えばいいのかわからない。	H28.12		地域移行支援の制度が当事者にわかりやすい方法で説明・提示されているのか把握する必要がある。 病院と地域で支える支援者が連携する体制が不十分。						
90	④地域移行・定 常支援	地域移行	宮前区	H28.11	区	入院中に利用できるサービスが少ない。生活行為を把握する目的で利用できる資源が少ない。	H28.12 H29.9		どんなサービスが入院中に利用できるのか、どういった希望があるのか把握できていない。住み慣れた地域で利用できる資源が少ない。また、把握できていない。						
91	①相談支援	一次相談	宮前区	H28.12	相談支援	相談したのにだいたい同じにされた。相談したが、答えが思っていたこと違うことを言われて戸惑った。電話したのにつながらない	H28.12		相談窓口の内容が当事者と関係機関ともに十分周知されていない。						
92	①相談支援	計画相談	宮前区	H28.12	区 相談支援	計画相談の主旨がわからない。説明や資料が難しい。計画相談支援をしてほしいけど、断られてしまった。	H28.12		計画相談の制度が周知されていない。計画相談が必要な人がどのくらいいるのかわからない。委託相談支援センターと指定特定の子割が周知されていない。						
93	⑥連携・つながり	情報	宮前区	H29.5	家族	情報は多々あるが、我が子に合致する有効なもの判断が難しい。親同士のネットワーク、孤立してしまうケース、どちらも情報収集に偏りがある。	H29.5		障害を持つ子に対する、有効な支援情報が判断できない。活用の仕方が分からない。						
94	③福祉サービス全般	権利擁護・就労	宮前区	H29.5	家族	就労A型事業所と雇用契約を結んだが、5か月で解雇された。障害特性に対する配慮がない。	H29.5		就労継続A型事業所での障害に対する知識・配慮が無い。支援者の連携体制が不十分。						
95	⑤情報	医療・情報	宮前区	H29.5	家族	初めての子で、親が定型発達知識がなく、障害があるゆえの悩みが子育てゆえの悩みが常に不安を抱えてしまう状況になる。	H29.5		障害児の成長、発達に対する知識が得にくい。						
96	⑥連携・つながり	相談支援・学校との連携	宮前区	H29.5	相談支援	中学で不登校になり、区児童家庭のCPに繋がるが、結局高校卒業まで公的な相談支援が付きず、支援が切れちゃった。	H29.5		教育と福祉の連携が十分にできていない。医療と福祉の連携ができていない。						
97	⑤情報	情報・相談窓口	宮前区	H29.5	その他	外国人市民急増しており、中には障害のある子もいる	H29.5		必要な人（外国の方）に情報が届いていない。						
98	⑥連携・つながり	教育と福祉の連携	宮前区	H29.5	その他	学齢期の児童の保護者にとって、相談しやすい立場にある児童支援コーディネーター。しかし、その方が福祉について十分理解していない。相談支援センターの存在や情報が届いていない。	H29.5		教育と福祉の連携ができていない。						
99	③福祉サービス全般	児童の放課後支援について	宮前区	H29.5	区	放課後等デイサービスと障害児一時預かりの違い。サービス間の差異がみられない現状がある。制度としてわかりにくく、またニーズとサービス利用の実態に合い難がある。	H29.5		児童期の日中系サービスの整理ができていない。（サービス利用実態に乖離）						
100	②権利擁護	合理的配慮（情報）	宮前区	H29.6	相談支援	退職したためハローワークに雇用保険給付金の申請に行き、説明会に参加したが合理的配慮がされておらず、説明会の内容を理解することが難しい。	H29.7		本人の特性に合わせた情報の伝え方の工夫や配慮がなされていない。						
101	⑨社会資源	通所手段	宮前区	H29.7	その他	通所の送迎で、遅い時刻に迎えに来て、早い時刻に送り届けられ介護者の中での自由な時間が短すぎる。	H29.8		サービスを利用する場所に行く手段を自分で用意できないのに、希望している形（時間・場所）の送迎対応が叶っていない。						
102	⑤情報	居住支援（部屋を貸してもらえない）	多摩	H28.9.6	専門機関	精神障害者手帳があり、宅中系を使用し、生活保護受給中。生活保護の範囲内で安全で住みやすい部屋を探しているが、みつからない。精神の手帳を持っていると言っただけで「理解のある大家が少ない」との理由から物件すら見せてもらえない	H28.10.18	①情報提供	居住支援、地域理解の問題。精神に限らず、身体や知的、高齢者などでも同様の問題があるのではないかと。高齢者などではどのように支援しているかよくは可能ではないか。	⇒市の居住支援委員会での取り組み予定	☆			課題整理ワーキングで協議中	
103	⑥連携・つながり	介護保険との連携（課題共有、支援の方向性を含めたい）	多摩	H28.9.20	専門機関	身体機能は屋内歩行可能だが、関係者（ケアマネ等）からは歩くのが難しいといわれ、制度間の考え方の相違から機能低下につながる可能性がある。	H28.10.18	②個別課題	介護保険の保険料者で障害のサービスを併用している場合、制度間・事業所間で考え方に相違があり、本人の希望や自立に向けた支援がずれてしまう。居宅介護事業所に指定相談をとってもらうような働きかけが重要か。	⇒まずは個別のケア会議	☆			課題整理ワーキングで協議中	
104	③福祉サービス全般	ヘルパーの不足（移動支援、行動援護）	多摩	H28.9.6	相談支援	余暇活動のため、ヘルパーを利用したが、ヘルパーがみつからない。（区外も同様）	H28.10.18	③区定例会で協議	5参照		☆				課題整理ワーキングで協議中
105	③福祉サービス全般	行動援護事業者がいない	多摩	H28.11.1	相談支援	これまで移動支援のサービスを利用していた人が区分更新で行動援護の対象者になったが行動援護を担える事業者がいない。	H28.12.20	③区定例会で協議	余暇支援は週末に希望が集中する。行動援護事業者が増えるためにできることはないか。		☆				課題整理ワーキングで協議中
106	③福祉サービス全般	ヘルパーの不足（入浴介助）	多摩	H28.9.10	相談支援	自宅の浴槽で入浴したいが、車いすで浴室が2階にあり、家族だけで入浴介助は難しい。ヘルパーを利用しているが、同性（男性）のヘルパーがいない。	H28.10.18	③区定例会で協議	ヘルパーが確保できない状況のときに家族の負担軽減をどうするか。男性ヘルパーが退職してしまう現状に対して協議会で出来ることはないか。行動援護や移動支援のヘルパー不足に関しても同様。	⇒2月のヘルパー事業所のつどいで上がったものと併せて検討。客観的な数値や退職する理由の調査が必要か。	☆			課題整理ワーキングで協議中	

107	⑦医療	医療ケアのある方の施設が不足している（インスリン）	多摩	H28.9.6	相談支援	インスリン自己注射が出来ない方のショートステイや通所の利用について常時の看護体制がないことを理由に断られる。（区外も同様）	H28.10.18		③区定例会で協議	本来であれば生活介護施設では医療的ケアを受け入れられずはであるが、現状としては施設の受け入れが難しい。協議会として出来ることはあるか。施設で行われている医療的ケアの実態把握は可能か。	☆☆		課題整理ワーキングで協議中		
108	③福祉サービス全般	医療ケアのある方の施設が不足している（吸引）	多摩	H28.9.6	区	頻回に吸引の必要なケースで看護師がいても毎日受け入れが難しいと言われる。	H28.10.18		③区定例会で協議	6参照	☆☆		課題整理ワーキングで協議中		
109	③福祉サービス全般	胃ろうがある方の通所施設がない。	多摩	H28.11.1	相談支援	胃ろうを作ったことでこれまで利用していた施設が利用できなくなった。現在利用している施設は週3回が限度で重度の方が多く、本人には物足りない。	H28.12.20		③区定例会で協議	看護師がいてもケア出来ない施設が多い。看護師の研修やサポートなどは協議会でなくてもいいのではないかと。施設側へのアプローチや別の制度（訪問看護が施設に申し付けると）を検討し提案したい。耳栓型の医療的ケアも手探りである。	⇒ニーズ把握	☆☆	課題整理ワーキングで協議中		
110	③福祉サービス全般	医療的ケアのある人の卒業後の連絡	多摩	2017/1/	構成員	医療的ケアが必要な重度の障害のある方の通所先がない。	H29.1.17		③区定例会で協議	6、8参照	☆☆		課題整理ワーキングで協議中		
111	③福祉サービス全般	通所施設から支援が出来ないので他を探してほしいと言われる。	多摩	H28.10.31	相談支援	行動療法があり、施設では対応が難しい。現在、入院中だが退院後の通所先がないため退院出来ない。	H28.11.15			通所施設の支援技術の向上のための介入ができないか。	⇒数は少ないのではないかと。地域診断を	☆☆	課題整理ワーキングで協議中		
112	③福祉サービス全般	障害者の夕方支援	多摩	2017/1/		高等部までは放課後デイサービスがあるが卒業後は帰宅時間が早く、生活の楽しみが少なく、家族の負担も大きくなる。	H29.1.17		③区定例会で協議	家族の就労のあり方の変化、夫婦共働きの増加、子育て支援も関連しているのではないかと。相談支援によるサービス等の調整。	⇒ニーズ把握	☆☆	課題整理ワーキングで協議中		
113	⑦医療	急性期病院退院後の受け入れ先がない	多摩	H28.9.20	相談支援	知的障害者が骨折で入院したが院内でのリハビリは本人の理解がなく出来ない。同様の理由で転院先もないことから退院となったがショートステイも2泊程度しかとれないため、家族の負担が大きい。	H28.10.18		③区定例会で協議	地域移行に向けた調整が必要。生活スタイルを身につけるまで回復期リハにあたるような施設があればよいが、ショートステイを利用するにしても人員不足から必要なケアを受けられないことがあり、ショートステイに追加する必要がある。	☆☆	課題整理ワーキングで協議中			
114	⑦医療	言語リハビリを受けられる場面が限られている。	多摩	H28.9.5	専門機関	重度の失語症があるが、保健センターで行っていた言語グループ（現在はなし）はレベルが高いと本人は思っているが言語リハビリを受けたい。	H28.11.15			本人が不安なく話のできる場所が必要。失語症の方が安心して出かけられる場がない。協議会で検討することかどうか。	⇒協議会とは別で自主グループ作りや言語協会への働きかけをしたかどうか	☆☆	課題整理ワーキングで協議中		
115	③福祉サービス全般	就労支援（就労移行支援の期限内に就職出来ない。）	多摩	H28.8.23	相談支援	体調の波があり、毎日通所することが難しいが就労継続支援事業所は通所する意味を感じない。一般就労の経験があり、障害福祉の就労サービスの利用に抵抗がある。	H28.11.15			本人のケアマネジメントと支援技術の向上が必要ではないか。相談支援調整会議の活用。相談支援を行う支援者が疲弊しないための支援、支援体制作りや支え合いが必要か。	⇒相談支援調整会議の活用	☆	課題整理ワーキングで協議中		
116	①相談支援	相談支援の役割（訴えが多く、相談支援員一人では対応が困難）	多摩	H28.10.25	相談支援	さまざまなことへの苦情などの訴えが毎日あり、対応していたが、相談にのってほしいと訴える。	H28.11.15			14と同様	☆		課題整理ワーキングで協議中		
117	⑤情報	同じ法人でグループホーム入居者を決定してしまい、希望者全体に空き情報が伝わらない。	多摩	H28.10.28	区	（知的）グループホームの新設や空き情報が出て、全体に周知される前に入居者が決まってしまい、公平でない。	H28.11.15		③区定例会で協議	グループホームの空き情報は精神は市精連がとまとめている。知的や身体も情報を集約できないか。	⇒相談支援センター間での情報の共有	☆	課題整理ワーキングで協議中		
118	③福祉サービス全般	GHでの週末の過ごし方	多摩	H28.10.31	相談支援	知的障害者、グループホームに入居中、自宅で過ごすようにゆっくり休む時間が必要と思われるが、一人でホームで過ごすことは困難で外出のサービスを希望される。	H28.12.20		③区定例会で協議	利用者本人の希望とグループホームでの支援のずれがある。グループホーム入居者が週末の時間を過ごす多様性がない。協議会として実態調査などはできそうか。	⇒個別ケアプランアンケートの活用。個別ケースとしては権利侵害にはあたらないか	☆☆	課題整理ワーキングで協議中		
119	⑤情報	児童期	麻生	平成25年4月以前	構成員	生活や学校等で困っているのに、サービスや相談できる場所等の情報が届きにくい。	平成25年4月以前より委員会として活動	平成25年4月以前より委員会として活動	③区定例会で協議	・特に地域の小中学校特別支援級に連携する障害児の家族に情報が届きにくい。 ・児童のサービスや制度等については、まずは支援者が熟知している必要がある。 ・家族同士の交流の中で正しい情報が届きやすくなる必要がある。	平成25年4月以前より委員会として活動	☆☆☆	平成25年4月以前より委員会として活動	専門委員会で協議中	
120	⑥連携・つながり	区民の障害理解	麻生	H26.5.1	構成員	重いすて店舗やトイレ、パスロータリーが使えない、点字ブロックのないところがある。自転車やバイクの軽乗マナーが悪い。スマートフォンの歩き見が危険。	平成26年6月～12月	平成26年6月～12月	③区定例会で協議	・共生社会の実現のためには、障害のある人、ない人関係なく互いを理解しあうことが必要である。	平成27年1月～3月	☆☆☆	平成27年4月	専門委員会で協議中	
121	⑤情報	福祉情報	麻生	H26.5.1	構成員	日中聞こえる音が聞こえない、工場の聞こえない社会資源が分からない。視覚障害者の通わせる場所が合わない。音楽との団体にきてほしいが交流が少ない。単身でも安心して生活したい。入院や入院をしている人の地域移行先としての住まいが確保できない。	平成26年6月～12月	平成26年6月～12月	③区定例会で協議	・支援に必要な障害者にも福祉サービスや相談先の情報が伝わる必要がある。	平成27年1月～3月	☆☆☆	平成27年4月	専門委員会で協議中	
122	①相談支援	相談支援	麻生	H28.4.1		市協議会から各区分に委員会を設置を行う旨の方針を届け	現在相談支援委員会にて整理中	平成28年4月より活動内容を随時報告している。	③区定例会で協議	地域の相談支援体制をよりよくしていくためには、相談支援利用者や支援者などのようなことを関心として感じているか、把握が必要である。	☆☆☆	平成28年4月	専門委員会で協議中		
123	③福祉サービス全般	児童期	麻生	H26.5.1	構成員	生活課題解決のための各サービスが少ない。相談できる場所の情報が少ない。重度障害児のサポート体制の不足。乳幼児の夕方以降のサポートが少ない。	平成28年度にて整理。	平成29年度5月に協議し、平成28年度に提出された課題を優先して検討することとなる。	③区定例会で協議		☆（取扱い保留）	平成29年度5月に協議し、平成28年度に提出された課題を優先して検討することとなる。			
124	③福祉サービス全般	工費	麻生	H26.5.1	構成員	利用者の工費を上げたい。	平成28年度にて整理。		③区定例会で協議		☆（取扱い保留）				

125	④地域移行・定 常支援	地域移行	麻生	H26.5.1	構成員	一人暮らしの練習する場がない。	平成28年度 にて整理。	平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	③区定例 会で協議		平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	☆（取扱い 保留）			
126	④地域移行・定 常支援	就労	麻生	H26.5.1	構成員	中途障害になった人の働ける場がない。障害があ ることを伝えずに働きたい人の相談先がほしい。 就労が定着しづらい。	平成28年度 にて整理。	平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	③区定例 会で協議		平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	☆（取扱い 保留）			
127	⑥連携・つな がり	ボランティア	麻生	H26.5.1	構成員	学生ボランティアを活用したいが、方法がわか らない。	平成28年度 にて整理。	平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	③区定例 会で協議		平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	☆（取扱い 保留）			
128	③福祉サービス 全般	入所施設	麻生	H26.5.1	構成員	入所施設が不足している。施設のIT化が進んで いない。施設が含まれてもほかの施設が見 つからない。施設の空き情報が分からない。	平成28年度 にて整理。	平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	③区定例 会で協議		平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	☆（取扱い 保留）			
129	①相談支援	相談支援	麻生	H26.5.1	構成員	相談支援事業所が少ない。書式をききやすくし てほしい。事業所の存在周知が不足している。家族 に障害があつて相談支援の必要性が伝わらない。 生活課題があるのに相談支援の必要性を感じない 人をどのように支えてよいか分からない。高齢の 障害者の支援目標設定が分からない。サードセ クター	平成28年度 にて整理。	平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	③区定例 会で協議		平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	☆（取扱い 保留）			
130	⑨社会資源	住まいの場	麻生	H26.5.1	構成員	車いす利用の方の住宅が不足している。市営住宅 の抽選になかなか当たらない。	平成28年度 にて整理。	平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	③区定例 会で協議		平成29年度 5月に協議 し、平成28 年度に提出さ れた課題を優 先して検討す ることとなる。	☆（取扱い 保留）			
131	③福祉サービス 全般	サービス不足	麻生	H28.10.1	構成員	移動支援等、ヘルパーが不足している。 通所・通学支援事業所が不足している。	平成29年5 月に整理	今年度、定例 会にてグルー プワークで協 議。	③区定例 会で協議	今年度末にて協議する。	今年度グルー プワークにて 協議予定。	☆☆（優 先）			
132	⑤情報	グループホーム	麻生	H28.10.1	構成員	利用できる場が少ない。 空き情報が分かりづらい。 休日や夜間等に世話人が不在。 視覚障害者向けのGHが少ない。	平成29年5 月に整理	今年度、定例 会にてグルー プワークで協 議。	③区定例 会で協議	今年度末にて協議する。	今年度グルー プワークにて 協議予定。	☆☆（優 先）			
133	⑨社会資源	医療的ケア	麻生	H28.9.21	構成員	どのサービスも医療的ケアが必要な方が利用することが 困難。	平成29年5 月に整理	今年度、定例 会にてグルー プワークで協 議。	③区定例 会で協議	今年度末にて協議する。	今年度グルー プワークにて 協議予定。	☆☆（優 先）			
134	⑨社会資源	夕方の支援	麻生	H28.10.1	構成員	通所施設利用後の過ごし場が少ない。	平成29年5 月に整理	他の課題を優 先して協議。	③区定例 会で協議		他の課題を優 先して協議。	☆（取扱い 保留）			
135	①相談支援	就労者への支援	麻生	H28.9.21	構成員	就労先での人間関係がうまくいかず、上司に相談したが 改善しない。	平成29年5 月に整理	他の課題を優 先して協議。	②個別課 題		他の課題を優 先して協議。	☆（取扱い 保留）			
136	⑧防災（災害）	災害時の支援	麻生	H28.9.21	構成員	災害が起きた時に障害がある方をどう支えるか。	平成29年5 月に整理	今年度、定例 会にてグルー プワークで協 議。	③区定例 会で協議		今年度グルー プワークにて 協議予定。	☆☆（優 先）			
137	⑤情報	日中の居場所	麻生	H28.9.21	構成員	知的障害・精神障害が重複している方の中での居場所が ない。	平成29年5 月に整理	今年度、定例 会にてグルー プワークで協 議。	③区定例 会で協議		今年度グルー プワークにて 協議予定。	☆☆（優 先）			
138	⑨社会資源	住まいの場	麻生	H28.9.21	構成員	保護者亡き後の住まいについて困っている。	平成29年5 月に整理	他の課題を優 先して協議。	③区定例 会で協議		他の課題を優 先して協議。	☆（取扱い 保留）			
139	①相談支援	契約や支援への 拒否の方への対応	麻生	H28.9.21	構成員	GH家賃を滞納しているが、GH職員や相談支援事業所の 支援を拒否している。	平成29年5 月に整理	他の課題を優 先して協議。	②個別課 題		他の課題を優 先して協議。	☆（取扱い 保留）			
140	⑤情報	入浴支援	麻生	H28.9.21	構成員	風呂に入りたいが、身体に障害があり、家庭の風呂も狭 く入れない。	平成29年5 月に整理	他の課題を優 先して協議。	②個別課 題		他の課題を優 先して協議。	☆（取扱い 保留）			
141	⑤情報	施設利用の際の 送迎	麻生	H28.9.21	構成員	短期所利用時に送迎サービスがないため困る。 障害状況により、送迎のある日中活動施設が利用でき ない。	平成29年5 月に整理	今年度、定例 会にてグルー プワークで協 議。	③区定例 会で協議		今年度グルー プワークにて 協議予定。	☆☆（優 先）			
142	⑤情報	医療的ケアのあ る方のGH利用	麻生	H28.9.21	構成員	医療的ケア（人工呼吸器装着で24時間看護体制が必要 等）が必要だが、GHにて自立生活を送りたい。	平成29年5 月に整理	他の課題を優 先して協議。	③区定例 会で協議		他の課題を優 先して協議。	☆（取扱い 保留）			

143	◎社会資源	視覚障害のある方の情報提供	麻生	H28.9.21	構成員	視覚障害があっても大きなエネルギーを使うことなく簡単、平等に情報が得られるワンストップの窓口が必要。	平成29年5月に整理	他の課題を優先して協議。	③区定例会で協議		他の課題を優先して協議。	☆（取扱い保留）				
-----	-------	---------------	----	----------	-----	--	------------	--------------	----------	--	--------------	----------	--	--	--	--

## 平成29年度 川崎市地域自立支援協議会災害ワーキング

報告者 : 宮前区役所高齢・障害課 濱福

1

### 平成29年度 災害ワーキングで取り組んだ活動①

#### 振り返り

平成28年度

災害ワーキングにて『障害者相談支援センターとして災害に備えて  
今すぐできることリスト』を作成。



目的: 災害に備えて今すぐできることを各相談支援センターが取り組むことで、気づきや新たな課題を明らかにし、それらを踏まえて、市地域自立支援協議会として、災害時における相談支援の在り方をまとめる方向で検討するため

2

## 平成29年度 災害ワーキングで取り組んだ活動②

平成29年4月 障害者相談支援センターと保健福祉センター等合同  
連絡会にて説明(4月上旬頃にデータ配信)  
各相談支援センターごとに取り組み開始



7月 障害者相談支援センターと保健福祉センター等合同  
連絡会にて作成した『障害者相談支援センターとして  
災害に備えて今すぐできることリスト』を基に各  
区ごとに分かれてグループワークを実施  
(取り組み状況と課題の共有)



8～9月 市協議会災害ワーキングにおいて課題を整理



10月 市企画運営会議にて今後の災害ワーキングの方向  
性について確認

3

## 災害時に障害者支援における検討事項を整理

### 【課題の整理を以下のとおり分類】

- ① 自立支援協議会検討可能な事項
- ② 行政(市)で検討すべき課題

内容	自立支援協議会で検討可能な事項	市として取り組むべき課題
防災情報 ポータル サイト	<ul style="list-style-type: none"><li>・「メールメニューかわさき」のサービス登録勧奨。</li><li>・災害時要援護者制度への登録を拒否された方にポータルサイトの利用を勧める必要がある。</li><li>・住民に向け広報</li><li>・障害特性に合わせた情報提供の方法</li></ul>	
防災マッ プ		<ul style="list-style-type: none"><li>・要援護者リストに載っている方がどの支援センターで登録されたかすり合わせができていない。</li></ul>
災害時の 備え	<ul style="list-style-type: none"><li>・意識づけが不十分</li><li>・自分の身を守るすべを支援するべきではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・支援センターにも利用者分の備蓄を整えておく必要がある。</li></ul>
全体を通 じて	<ul style="list-style-type: none"><li>・発電機の必要な人への支援・準備</li><li>・お薬手帳とお助けカードのリンクを検討</li><li>・トランシーバーの活用法の検討</li><li>・各センターの相談者の情報共有し、協力体制の構築</li><li>・区内の情報をまとめておく必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・区内各支援センターが災害時に連携を図れるか。(地区割ができておらず区内全体に登録者がいるため、情報は毎日更新される)</li></ul>

4



## 災害ワーキング今後の取り組みについて（案）

---

### ① 相談支援センター運営法人の災害時の対応について各法人に調査

#### 理由

各運営法人によって災害時の対応について規則や規定が定められている場合があり、災害時の相談支援の在り方を考えるにあたり、統一した体制を取ることができるかどうか、検討する上でまずは各法人に調査を行う。

### ② 川崎市障害者支援センター災害時対応ガイドラインの作成

#### 理由

今回の課題の整理から、主に発災前の防災の意識づけや相談支援が大切であることが改めて判明。それらを踏まえてガイドラインを作成しながら課題をひとつずつ整理していく。